

看護学教育 における OSCEの実際

—市民の模擬患者と共に—

札幌市立大学は平成 18 年度にスタートしたばかりの大学で
看護学部とデザイン学部の 2 学部で運営しています。

平成 20 年度の教育 GP に採択された
「学年別 OSCE の到達度評価と教育法の検討」は
各学年毎の学修到達度を設定し、
学生の自己学修を促進すると共に
看護実践力を育成しようとするものです。

この中では、一般市民の方々に「模擬患者」として
教育に参画してもらっています。

今回は、模擬患者の要請や
模擬患者に参加していただきながら進めている、
演習や試験などの、本学の取り組みをご紹介します。

講師：中村 恵子

(札幌市立大学副学長・看護学部長・教授)

日時：2010 年 10 月 23 日 (土)

13 時 30 分～15 時 00 分

場所：北大総合博物館 1 階「知の交流」コーナー

共催：札幌市立大学教育 GP 「学年別 OSCE の到達度評価と教育法の検討」



教育 GP マスコットキャラクター
Zenjinkun

「博物館を舞台とした体験型全人教育の推進」事務局



Hokkaido Univ.
〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目 北大総合博物館内
TEL & FAX: 011-706-4704 (内線4704)
E-mail: ts3110@museum.hokudai.ac.jp
HP: <http://museum-sv.museum.hokudai.ac.jp/activity/edu-gp/>

入場無料・申込不要